

静岡県高等学校体育連盟会長 石川恵一郎

平成23年3月11日国内観測史上最大のマグニチュード9.0、千年に一度起こるかどうかの大地震が発生しました。この地震による大津波は、数々の地震を体験した人々の想定外の規模で、今まで築いてきた文明をあざ笑うかのように一気にのみ込み一瞬にして町を破壊してしまいました。また、原子力発電所も地震により放射能漏れが発生し、二重の災難をこうむってしまった人々も多くおられ、残念でならないと感じています。心中お察し申し上げます。平成七年に起きた阪神淡路大震災で被災した人々も、悲しみは依然として癒えていませんが、神戸の町はみごとに復興しました。今回被災にあった方々も、時間はかかるかもしれませんが今後の復興に期待をしたいと思います。私たちもできる限りの協力を惜しまないつもりです。

しかも、全国総体は今年からブロック開催となり、震災の被災地である岩手、青森、秋田の北東北ブロックが開催地となりました。被災地であっても開催すべく頑張っているとのことですので、私たちも、被災地に笑顔と勇気を与えられるよう、全力で競技することで期待にこたえて行きたいと思います。

さて、4月15日の県高体連評議員会で会長の承認を受けました静岡東高校校長の石川恵一郎です。副会長、副支部長7人の校長先生等とともに、運営に携わってまいりますのでよろしくお願いいたします。

当然のことながら、高体連組織の主役はなんと言っても生徒です。その生徒については、大きく三つに分類されます。一つ目は、静岡県内の全ての高校生に対する対応です。全国的に上位に位置している静岡県の高校生の体力について、今後さらに向上を図っていくことがまず挙げられます。二つ目は、県内の運動部員や各高校の全顧問に対する対応です。少子化の影響により各高校のクラス数は減少傾向で、さらに教職員減員で運動部が減少傾向にあります。高校における部活動の果たす役割として、減少は、その根底が大きく揺らぐ由々しき問題です。放課後の各高校において、様々な部活動が活動し活気ある声が響き渡るような学校を取り戻していきたいと思います。三つ目は、各競技におけるトップレベルの運動部及び部員に対する対応です。加盟する運動部の目的・目標は、明確です。ほとんどが競技力の向上を目指して日々練習を行っています。その成果として、全国で好成績を収めることができれば、本人や当該部そして当該高校だけでなくひいては、県民にも勇気と活力を与えてくれます。その成果の一面には、精神面での大きな成長をもたらすことが挙げられるので、今後も多くの競技が全国で活躍することを願っています。各々の段階で、高体連の果たす役割は異なってきます。それぞれについて、今一度何を果たすべきかを確認して取り組んで行きたいと思います。

また、一方では、学校における部活動のあり方や組織を運営していく財政的な基盤の整備も急務となっています。

これら諸問題を一つ一つ解決しながら、県内高校生の心身の健やかな成長とともに有徳の人を育む土台作りとなるよう県高体連を運営してまいりますので、今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。